

# もぐらだより

2021年  
2022年

合併号

Vol. 46

## 矢部理事長 ありがとうございます。



### 理事長退任挨拶

矢部 三次

謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より当もぐら会に対しまして、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて私こと令和3年6月の役員改選を持ちまして理事長を退任いたしました。長年にわたり賜りましたご厚情に対しまして衷心より御礼申し上げます。

顧みれば昭和46年、小新地区に営んでおりました家族会運営の無認可作業所「もぐらの家」が、昭和57年、国際障害者年を契機に国、新潟県、新潟市のお力をお借りし、認可施設もぐら工房、もぐらの家として坂井の地で新たにスタートいたしました。障がいがあっても地域で暮らしたい、仕事を通じて社会に貢献したい、この当たり前の想いを当地で着実に進めてこられたことに感慨の念を深くしております。もぐら会が掲げる理念、地域で一人一人が輝く支援、利用者の可能性の追求、共に生きる地域社会作りが家族会を始め、後援会、役員全員一丸となつて取り組んでまいりました。

この40年の間にもぐら工房、もぐらの家をはじめ、平成11年生活介護・就労継続支援事業所「ポプラの家」、平成25年放課後等デイサービス「ハロー・キッズ」、平成31年就労継続支援事業所「すまいるはうす」、相談支援事業所「こんばす」と6事業所の運営を担うこととなりました。それぞれの地域の皆様のご理解があればこそ感謝を申し上げる次第であります。役員としての期間40年、理事長としての期間11年、良き人々に恵まれ、また支えられ退任を迎える事ができ大変嬉しく思っている次第です。

エピソードになりますが、もぐら会という名前は当時（40年前）、私たちと同じ思いで既に東京に実在した「東京もぐらの家」からその名前を分けて頂きました。地域で生活、働いて社会に貢献、という当時親の会が目指した理想像がそこにあったからです。ただ、もぐらは畑の作物を荒らす害獣というイメージがありました。しかし、もぐらには畑の作物が良い、ミミズなどの多い有機質の良い畑である。もぐらが暮らせる地域は、本当の福祉の地域であると、希望を持ってネーミングいたしました。今まさに、坂井輪の地域はもぐらを理解し、温かく応援して下さる地域となりました。もぐらの名前にして良かったと改めて思っている次第です。

今までの40年間は、もぐらの人々を知ってもらい、理解してもらう期間であったかと思えます。今後は私たち自身もできる事を通じ、地域の皆様と共に、より住みよい地域作りに参画していきたいと考えております。どうぞこれからも、更なるご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。退任の挨拶といたします。



# 社会福祉法人新潟もぐら会の新しい役員体制が決定いたしました

## 評議員

評議員 真水正子 (再任)  
 評議員 上田晋三 (再任)  
 評議員 横木春三 (再任)  
 評議員 米田 修 (新任)  
 評議員 渡辺幸治 (新任)  
 評議員 大沢博雄 (新任)  
 評議員 高橋桂子 (新任)

※令和3年6月改選時

### 【任期】

令和3年6月開催の定時評議員会の  
終結の時から令和7年の定時評議員  
会の終結の時まで。

## 退任評議員

評議員 内海公子 (退任)  
 評議員 坂井信也 (退任)  
 評議員 小林 勉 (退任)  
 評議員 豊岡 克 (退任)

## 理事/監事

理事 (長) 田中滋世 (再任・新任)  
 理事 豊岡豊郎 (再任)  
 理事 梶原六郎 (再任)  
 理事 本間良夫 (新任)  
 理事 山賀亮一 (新任)  
 理事 小林 仁 (新任)  
 監事 小林純一 (再任)  
 監事 後藤信子 (再任)

※令和3年6月改選時

### 【任期】

令和3年6月開催の定時評議員会の  
終結の時から令和5年の定時評議員  
会の終結の時まで。

## 退任理事

理事 (長) 矢部三次 (退任)  
 理事 関根利樹 (退任)  
 理事 漆山昭三 (退任)

漆山 昭三

もぐら会の記念誌10・15・20・30周年の四冊を並べて、来し方30余年を偲んでいます。ページを捲る毎に過ぎし日の会の活動が走馬灯のように頭を駆け巡ります。そこには昭和46年に小新地区に産声をあげて以来の熱意とエネルギーが脈々と受け継がれていることを改めて感じました。

当時の中谷理事長に理事を仰せつかり、以来多くの関係者と接し、或いは行動を共にし理解を深め合うことができたのは、私にとって何よりの宝であり、感謝の他ありません。

会議の時や行事の時は、甲斐甲斐しく作業に取り組む利用者の皆さんに接し、養護学校時代に生活を共にした子ども達の顔を見ることのできるのも大きな楽しみでした。

新型コロナウイルスによって作業範囲も狭まり、苦労が続きますが、一日も早く状況が好転し安心・安全な生活ができるよう、そして地域と共に生きるとい

目的達成のために、存分に活動できる日の一日も早いことを祈ります。



内海 公子

梅雨が明け暑い日が続きます。先日は評議員の方々とお別れの機会を作って下さりありがとうございます。

長く居ただけで充分なお手伝いも出来ませんでしたのに恥ずかしい思いです。

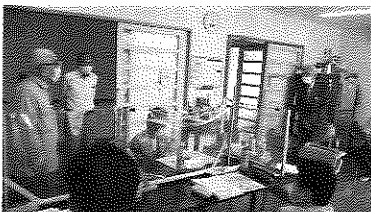
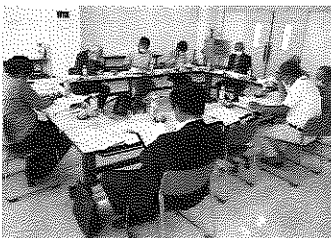
それでも入所者の方々と交わる機会がありましたし、研修会では他の施設の働きを知り学ぶことが出来ました。

最後の評議員会であの大きな花束には驚かされました。

居間で次々開花した大きな百合の商品券には思案してしまいました。お気遣いは無用でしたのに。

コロナ禍の中にあつてお仕事も大変と思いますが、どうぞ皆様の御健康と御活躍をお祈りします。

2021年7月16日



# 令和2年度事業と決算のお知らせ

社会福祉法人新潟もぐら会の事業報告及び財務の状況について、その概要をお知らせします

## 事業報告

社会福祉法人新潟もぐら会は昭和57年1月に社会福祉法人の認可を受けました。令和2年度の役員及び事業内容は、次のとおりです。

### 役員構成

市町村名	理事	評議員	監事
新潟市	6	7	1
聖籠町			1
計	6	7	2
会議開催回数	3(1)	1	1

\* ( ) 内は、書面

### 経営する施設・事業

体系別	施設名	開所年月日	定員
障害福祉サービス事業	就労継続支援事業 もぐら工房	平成 22.10.1	20
	共同生活援助 もぐらの家	平成 22.10.1	7
	生活介護事業 ポプラの家	平成 19.4.1	20
	就労継続支援事業 ポプラの家	平成 19.4.1	10
	就労継続支援事業 すまいるはうす	平成 31.4.1	20
障害児通所支援事業	障害児通所支援事業 ハローキッズ	平成 25.4.1	10
特定相談	特定相談支援事業 こんばす (障害児相談支援)	令和 1.5.1 (2.4.1)	

## 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

資産	451,644,674円
(各施設の土地、建物、預金等)	
負債	32,593,538円
(各施設の設備資金借入金等)	
差引純資産	419,051,136円

新潟市放課後デイサービス事業利用者負担軽減補助金を受け利用料の減額をいただいています。

新潟市自立支援費利用者負担軽減補助金を受け、利用料の減額をいただいています。

新潟市指定共同生活援助事業所支援事業補助金を受けています。

## 貸借対照表

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産	193,620,326	流動負債	18,560,398
固定資産	258,024,348	固定負債	14,033,140
		負債の部合計	32,593,538
		純資産の部	
		基本金	25,893,554
		国庫補助金等特別積立金	76,769,020
		その他の積立金	16,658,984
		次期繰越活動収支差額	299,729,578
		純資産の部合計	419,051,136
資産の部合計	451,644,674	負債及び純資産の部合計	451,644,674

## 資金収支計算書

収入	就労支援事業収入	19,630,948
	障害福祉サービス等事業収入	167,580,129
	私的契約使用料収入	3,040,072
	経常経費寄附金収入	768,200
	受取利息配当金収入	13,609
	その他の収入	524,860
	事業活動収入計	191,557,818
支出	人件費支出	124,939,465
	事業費支出	14,919,081
	事務費支出	20,104,585
	就労支援事業支出	20,495,197
	その他の支出	151,268
		事業活動支出計
	事業活動資金収支差額	10,948,222
収入	施設整備等補助金収入	1,922,000
	施設整備等寄附金収入	600,000
	施設整備等収入計	2,522,000
支出	固定資産取得支出	5,724,232
	ファイナンシャル・リース債務の返済支出	1,770,760
	施設整備等支出計	7,494,992
	施設整備等資金収支差額	△ 4,972,992
収入	積立資産取崩収入	72,000
	その他の活動収入計	72,000
支出	積立資産支出	414,000
	その他の活動による支出	416,432
	その他の活動支出計	830,432
	その他の活動資金収支差額	△ 758,432
	当期資金収支差額合計	5,216,798
	前期末支払資金残高	177,598,768
	当期末支払資金残高	182,815,566

## 事業活動収支計算書

収益	就労支援事業収益	19,630,948
	障害福祉サービス等事業収益	167,580,129
	私的契約使用料収益	3,040,072
	経常経費寄附金収益	768,200
	その他の収益	5,900
	サービス活動収益計	191,025,249
費用	人件費	125,432,044
	事業費	14,919,081
	事務費	20,104,585
	就労支援事業費用	20,305,058
	減価償却費	10,859,337
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,707,135
	サービス活動費用計	186,912,970
	サービス活動増減差額	4,112,279
収益	受取利息配当金収益	13,609
	その他のサービス活動外収益	518,960
	サービス活動外収益計	532,569
費用	その他のサービス活動外費用	151,268
	事業活動外支出計	151,268
	サービス活動外増減差額	381,301
収益	施設整備等補助金収益	1,922,000
	施設整備等寄附金収益	600,000
	特別収益計	2,522,000
費用	固定資産売却損・処分損	5
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,922,000
	その他の特別損失	200,000
	特別費用計	2,122,005
	特別増減差額	399,995
	当期活動増減差額	4,893,575
	前期繰越活動増減差額	294,836,003
	当期末繰越活動増減差額	299,729,578
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	0

## 令和2年度 苦情解決の受付状況について

もぐら工房において、利用者より2件の苦情の申し出がありました。内容を確認し、適切な支援に努めました。

内容	もぐら工房	ポプラの家	もぐらの家	ハロー・キッズ	すまいるはうす	こんばす
職員の言動に対する苦情・意見	1	0	0	0	0	0
利用者間におけるトラブル	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0	0

苦情受付担当者

# 令和3年度事業と決算のお知らせ

社会福祉法人新潟もぐら会の事業報告及び財務の状況について、その概要をお知らせします

## 事業報告

社会福祉法人新潟もぐら会は昭和57年1月に社会福祉法人の認可を受けました。令和3年度の役員及び事業内容は、次のとおりです。

### 役員構成

市町村名	理事	評議員	監事
新潟市	6	7	1
聖籠町			1
計	6	7	2
会議開催回数	4	2	1

\* ( ) 内は、書面

### 経営する施設・事業

体系別	施設名	開所年月日	定員
障害福祉サービス事業	就労継続支援事業 もぐら工房	平成 22.10.1	20
	共同生活援助 もぐらの家	平成 22.10.1	7
	生活介護事業 ボプラの家	平成 19.4.1	20
	就労継続支援事業 ボプラの家	平成 19.4.1	10
	就労継続支援事業 すまいるはうす	平成 31.4.1	20
	障害児通所支援事業 ハローキッズ	平成 25.4.1	10
特定相談	特定相談支援事業 こんばす (障害児相談支援)	令和 1.5.1 (2.4.1)	

## 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

資産	438,625,129円
(各施設の土地、建物、預金等)	
負債	29,983,319円
(各施設の設備資金借入金等)	
差引純資産	408,641,810円

新潟市放課後デイサービス事業利用者負担軽減補助金を受け利用料の減額をいただいています。

新潟市自立支援費利用者負担軽減補助金を受け、利用料の減額をいただいています。

新潟市指定共同生活援助事業所支援事業補助金を受けています。

## 貸借対照表

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産	192,628,723	流動負債	18,942,359
固定資産	245,996,406	固定負債	11,040,960
		負債の部合計	29,983,319
		純資産の部	
		基本金	25,893,554
		国庫補助金等特別積立金	72,087,316
		その他の積立金	16,658,984
		次期繰越活動収支差額	294,001,956
		純資産の部合計	408,641,810
資産の部合計	438,625,129	負債及び純資産の部合計	438,625,129

## 資金収支計算書

収入	就労支援事業収入	19,722,424
	障害福祉サービス等事業収入	161,339,395
	私的契約使用料収入	2,757,779
	経常経費寄附金収入	264,600
	受取利息配当金収入	12,650
	その他の収入	2,801,399
	事業活動収入計	186,898,247
支出	人件費支出	129,021,715
	事業費支出	14,761,361
	事務費支出	21,851,029
	就労支援事業支出	19,950,724
	その他の支出	124,964
		事業活動支出計
	事業活動資金収支差額	1,188,454
収入	施設整備等補助金収入	28,000
	施設整備等収入計	28,000
支出	固定資産取得支出	1,238,600
	ファイナンシャルリスク債務の返済支出	2,141,680
	施設整備等支出計	3,380,280
	施設整備等資金収支差額	△ 3,352,280
収入	積立資産取崩収入	1,237,500
	その他の活動収入計	1,237,500
支出	積立資産支出	387,000
	その他の活動による支出	216,432
	その他の活動支出計	603,432
	その他の活動資金収支差額	634,068
	当期資金収支差額合計	△ 1,529,758
	前期末支払資金残高	182,815,566
	当期末支払資金残高	181,285,808

## 事業活動収支計算書

収益	就労支援事業収益	19,722,424
	障害福祉サービス等事業収益	161,339,395
	私的契約使用料収益	2,757,779
	経常経費寄附金収益	264,600
	その他の収益	2,053,219
		サービス活動収益計
費用	人件費	128,126,741
	事業費	14,761,361
	事務費	21,851,029
	就労支援事業費用	20,204,811
	減価償却費	12,045,383
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,500,455
	サービス活動費用計	192,488,870
	サービス活動増減差額	△ 6,351,453
収益	受取利息配当金収益	12,650
	その他のサービス活動外収益	748,180
	サービス活動外収益計	760,830
費用	その他のサービス活動外費用	124,964
	事業活動外支出計	124,964
	サービス活動外増減差額	635,866
収益	施設整備等補助金収益	28,000
	特別収益計	28,000
費用	固定資産売却損・処分損	12,035
	国庫補助金等特別積立金積立額	28,000
	その他の特別損失	0
	特別費用計	40,035
	特別増減差額	△ 12,035
	当期活動増減差額	△ 5,727,622
	前期繰越活動増減差額	299,729,578
	当期末繰越活動増減差額	294,001,956
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	0

## 令和3年度 苦情解決の受付状況について

もぐらの家において、利用者より1件の苦情の申し出がありました。内容を確認し、適切な支援に努めました。

内容	もぐら工房	ボプラの家	もぐらの家	ハロー・キッズ	すまいるはうす	こんばす
職員の言動に対する苦情・意見	0	0	1	0	0	0
利用者間におけるトラブル	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	0	0

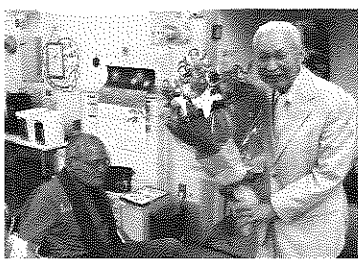
苦情受付担当者

### 矢部理事長との思い出

利用者 南 繁栄

東京にあった「もぐらの家」を見学に行った渋谷さんと矢部さんが新潟にも作りたいという希望をもって、梶原さんの紹介で地元小新の農協の農家代表の三ヶ月さんから米倉庫を無償で貸してもらい、乙川さんから改築してもらいスタートしました。矢部さんをはじめとする会の尽力で村の自治会の配慮によりガス水道などを無料にしてもらいました。

事件が起きたのは、私ともぐらの家（小新の）に入所して半年くらい過ぎた頃でした。当時のもぐらの家では飲酒は禁止されていました。私は、「もぐらの家の建物内で飲まなければいい」と理屈を言って、敷地の外にゴザを敷いて何人かの仲間と飲酒をはじめました。それが見つかると、梶原さんのお父さんや小林さんには「実家に帰ってもらいましょう」と言われましたが、かばってくれたのは、矢部夫妻でした。「子供がやったことだから大目にみよう」と取りなしてくれ、そのお陰ですともぐらの家に居ることができ、感謝しています。それがきっかけで毎月一回飲酒の日ができました。自分達の手で「もぐらの家」を何とか



作りたいの思いを持って敬和学園の方々の手を借りたりして、街頭募金をしました。忙しい中、矢部さんも一緒に、街頭募金に立ったり、色んな会社に寄付のお願い

に行ってくれました。

矢部さんはいつも柔和で優しく接してくれてありがたかったです。坂井に移ってから補助のない通所ホームの時には、理事会有るたびに羽田さんといくらか出る交通費をホームの為に使って置いて行ってくれました。そのお金で時々おいしい物もいただくことができました。ありがとうございました。

### 退所しました

南 繁栄

私の本当の人生が始まったのは、もぐらの家に入ってから1年くらいしてキリスト教と出会って半年経ち信者になった時からです。生きる力、希望をいただきました。それからみずほ園が出来、入所しました。みずほ園では、あんまりする事がなかったので通信で聖書の勉強を3年くらいしました。みずほ園の休みは1回2週間くらいあり、家には2、3日帰りその後ほとんどもぐらの家で過ごしていたので、もぐらの家が新しく坂井に出来ることも知っていました。渋谷さんから新しいもぐらの家に「来るか？」と話があった、昭和57年4月からまた入れてもらいました。一緒に生活する人は前のもぐらの家と同じメンバーだったので気楽で楽しく過ごすことが出来ました。その頃一番思い出に残っているのは、土曜日の朝早起きをして近くの朝市に行き買い物して、みんなで食べたことが楽しかったです。

教会の色んな集いにも出る事が出来たし、ある人が作った「てんとう虫友の会」に入って障がい者が外出する活動に参加し、それがきっかけで「車いすで街



に出よう会」に出会い、活動の幅が広がり、集会や講演会にも行き、色んなことを教えられ、色んな人に会うことが出来、色んな勉強をしました。「演劇鑑賞会」に入っ

て、幅広く演劇や公演を観て楽しみました。たくさん俳優と話をしたことも良い思い出です。人生的にも経験や体験を通して豊かに生きることが出来ました。これはずっと続いていたのですが、もぐらの家も昔からいる人が1人2人といなくなり、悲しくなり、自分の行動も自分で制御するようになりました。私としては、もぐらの家が精神的支柱となる友達も与えてくれたし、人間的なものも与えてくれたので、もぐらの家が生活の中心でかけがえのないものとなりました。もぐらを退所し、ここに来て10か月になります。何もすることがないのCDやラジオを聞いて毎日を送っています。体の機能も落ちてきました。肺がんと色んな病気の事もあり、人生の終わりを託す場所を探さなければならず、まだまだ悩みも尽きませんが、賛美やメッセージのCDをかけながらゆっくりしたり、中村さんから電話で聖書を読んでもらったりして、自分がクリスチャンであることを喜んでいきます。

横尾 真千

半年という短い期間でしたが、お世話になりました。最初の頃は緊張していましたが、もぐ

らの皆さんに優しくしていただき作業できるようになりました。これからはワークサポーター青山で清掃の仕事頑張ります。

### 入所しました

宮澤 浩昌

令和3年8月からもぐら工房で働いています。他の皆さんと一緒に頑張る仕事に取り組んでいきたいです。これからも宜しくお願いします。

本多 裕

もぐら工房を見学して入所を決めました。作業はウエスを重ねる「伸し」という作業です。元々手が遅いので、作業時間内に終わらせられるように頑張りたいです。宜しくお願いいたします。

M・M

私は去年の1月からもぐら工房でお世話になり、早いもので1年半があつという間に過ぎました。入所した当時は不安や色々なことがあり、悩んだことがありますが。そんな時、職員さんと周囲の仲間

に助けられ今に至っています。私自身、人生の中でもぐら工房で働けたことが本当に心の支えになっています。これから先も楽しく、周りの人たちと助け合ってやっていきたいと思っております。どうか宜しくお願い申し上げます。



# 社会福祉法人新潟もぐら会の新しい役員体制が決定いたしました

## 評議員

評議員	真水正子 (再任)
評議員	上田晋三 (再任)
評議員	横木春三 (再任)
評議員	米田 修 (新任)
評議員	渡辺幸治 (新任)
評議員	大沢博雄 (新任)
評議員	高橋桂子 (新任)

※令和3年6月改選時

### 【任期】

令和3年6月開催の定時評議員会の終結の時から令和7年の定時評議員会の終結の時まで。

## 退任評議員

評議員	内海公子 (退任)
評議員	坂井信也 (退任)
評議員	小林 勉 (退任)
評議員	豊岡 克 (退任)

## 理事/監事

理事 (長)	田中滋世 (再任・新任)
理事	豊岡豊郎 (再任)
理事	梶原六郎 (再任)
理事	本間良夫 (新任)
理事	山賀亮一 (新任)
理事	小林 仁 (新任)
監事	小林純一 (再任)
監事	後藤信子 (再任)

※令和3年6月改選時

### 【任期】

令和3年6月開催の定時評議員会の終結の時から令和5年の定時評議員会の終結の時まで。

## 退任理事

理事 (長)	矢部三次 (退任)
理事	関根利樹 (退任)
理事	漆山昭三 (退任)

漆山 昭三

もぐら会の記念誌10・15・20・30周年の四冊を並べて、来し方30余年を偲んでいます。ページを捲る毎に過ぎし日の会の活動が走馬灯のように頭を駆け巡ります。そこには昭和46年に小新地区に産声をあげて以来の熱意とエネルギーが脈々と受け継がれていることを改めて感じました。

当時の中谷理事長に理事を仰せつかり、以来多くの関係者と接し、或いは行動を共にし理解を深め合うことができたのは、私にとって何よりの宝であり、感謝の他ありません。

会議の時や行事の時は、甲斐甲斐しく作業に取り組む利用者の皆さんに接し、養護学校時代に生活を共にした子ども達の顔を見ることのできるのも大きな楽しみでした。

新型コロナウイルスによって作業範囲も狭まり、苦労が続きますが、一日も早く状況が好転し安心・安全な生活ができるよう、そして地域と共に生きるといふ

目的達成のために、存分に活動できる日の一日も早いことを祈ります。



内海 公子

梅雨が明け暑い日が続きます。先日は評議員の方々とお別れの機会を作って下さりありがとうございます。

長く居ただけで充分なお手伝いも出来ませんでしたのに恥ずかしい思いです。

それでも入所者の方々と交わる機会がありましたし、研修会では他の施設の働きを知り学ぶことが出来ました。

最後の評議員会であの大きな花束には驚かされました。

居間で次々開花した大きな百合の商品券には思案してしまいました。お気遣いは無用でしたのに。

コロナ禍の中にあってお仕事も大変と思いますが、どうぞ皆様の御健康と御活躍をお祈りします。長年のお心遣いに感謝して。

2021年7月16日

